

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2003-178273 (P2003-178273A)
 【公開日】平成 15 年 6 月 27 日 (2003.6.27)
 【出願番号】特願 2001-378398 (P2001-378398)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 K 17/00
 G 1 1 B 27/00
 G 1 1 B 27/10
 G 1 1 B 27/34

【F I】

G 0 6 K 17/00 L
 G 1 1 B 27/00 A
 G 1 1 B 27/10 A
 G 1 1 B 27/34 N

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 12 月 13 日 (2004.12.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のプログラムが動作可能で、各プログラム毎に動作時に処理の対象とする情報の記録形式がそれぞれ予め定められる情報処理装置であって、

複数の情報を記録可能な記録媒体が着脱可能で、装着時に記録媒体に記録されている情報を読み出すことが可能な媒体装着手段と、

媒体装着手段への記録媒体の装着に応答して、予め定める順序条件に従って記録媒体に記録されている第 1 の情報を読み出し、該情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを選択的に起動して該情報の処理を行わせ、該記録媒体から第 2 以下の情報を読み出す際には、該プログラムが処理の対象とする記録形式で記録されている情報を、該順序条件に従って順次読み出させるように制御する制御手段とを含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

記録媒体から、前記順序条件に従って前記各情報を読み出すためのデータが記憶されている記憶手段を含むことを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記記憶手段には、前記情報が記録された時期についてのデータが記憶され、

前記制御手段は、前記順序条件として該記録媒体に情報を記録する時期の新旧に従い、該記録媒体に最後に記録された情報を前記第 1 の情報として読み出すように制御し、該情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを起動することを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記記憶手段には、前記情報が処理の対象となって使用された時期についてのデータが記憶され、

前記制御手段は、前記順序条件として該記録媒体に記録されている情報が使用された時期の新旧に従い、該記録媒体で最後に使用された情報を前記第 1 の情報として読み出すよう

に制御し、該情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを起動することを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記記憶手段には、前記情報が処理の対象となって使用された回数についてのデータが記憶され、

前記制御手段は、前記順序条件として該記録媒体に記録されている情報が使用された回数の多少に従い、該記録媒体で最も使用回数の多い情報を前記第 1 の情報として読出すように制御し、該情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを起動することを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記記憶手段には、前記情報が処理の対象となって使用された回数についてのデータが記憶され、

前記制御手段は、前記順序条件として該記録媒体に記録されている情報が使用された回数を記録形式毎に集計した結果の多少に従い、該記録媒体で最も使用回数の多い記録形式の情報のうち、予め定める基準で選択される情報を前記第 1 の情報として読出すように制御し、該情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを起動することを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記予め定める基準は、記録された時期の新旧であることを特徴とする請求項 6 記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記記録媒体には、複数のプログラムが共通に処理の対象とする記録形式の情報が記録され、

該記録形式の情報を処理の対象とするプログラムについて、各プログラム毎に処理の対象とした回数を記録する記憶手段をさらに含み、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として記録媒体から読出す情報が複数のプログラムによって共通に処理の対象とする記録形式であるとき前記記憶手段に記憶されている回数の最も多いプログラムを起動するように制御することを特徴とする請求項 2 ～ 7 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記記憶手段には、前記情報が記録された時期についてのデータと、前記複数のプログラムのうち、最後に情報を処理したプログラムとが記憶され、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として記憶手段に記録されたプログラムが処理の対象とする記録形式の情報のうち、前記記録媒体に最後に記録された情報を読出すように制御し、前記第 2 以下の情報を読出す際には、該記録形式で記録されている情報を、新旧の記録順序に従って順次読出させることを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記記憶手段には、前記情報が処理の対象となって使用された時期についてのデータと、前記複数のプログラムのうち、最後に情報を処理したプログラムが記憶され、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として記憶手段に記憶されたプログラムが処理の対象とする記録形式の情報のうち、前記記録媒体で最後に使用された情報を読出すように制御し、前記第 2 以下の情報を読出す際には、該記録形式で記録されている情報を、新旧の使用順序に従って順次読出させることを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記記憶手段には、前記情報が記録された時期についてのデータと、前記複数のプログラムの各プログラム毎に情報の処理に使用した回数とが記憶され、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として記憶手段に記憶された使用回数が最も多いプログラムが処理の対象とする記録形式の情報のうち、前記記録媒体に最後に記録された情報を読出すように制御し、前記第 2 以下の情報を読出す際には、該記録形式で記録されている情報を、新旧の記録順序に従って順次読出させることを特徴とする請求項 2 記載の情報

処理装置。

【請求項 1 2】

前記記憶手段には、前記情報が処理の対象となって使用された時期についてのデータと、前記複数のプログラムの各プログラム毎に情報の処理に使用した回数とが記憶され、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として記憶手段に記憶された使用回数が最も多いプログラムが処理の対象とする記録形式の情報のうち、前記記録媒体で最後に使用された情報を読み出すように制御し、前記第 2 以下の情報を読み出す際には、該記録形式で記録されている情報を、新旧の使用順序に従って順次読み出させることを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 1 3】

前記記憶手段には、前記情報が処理の対象となって使用された時期についてのデータが記憶され、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として、前記記録媒体に記憶されている情報の記録形式のうちで、最多数の情報が記録されている記録形式の情報から、最後に使用された情報を読み出すように制御し、前記第 2 以下の情報を読み出す際には、該記録形式で記録されている情報を、新旧の使用順序に従って順次読み出させることを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 1 4】

前記記憶手段には、前記情報が記録された時期についてのデータが記憶され、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として、記録媒体に記録されている情報の記録形式の種類を検索し、その種類の中からランダムに記録形式を決定し、該記録形式の情報のうち、最後に記録された情報を読み出すように制御し、前記第 2 以下の情報を読み出す際には、該記録形式で記録されている情報を、新旧の記録順序に従って順次読み出させることを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 1 5】

前記記憶手段には、前記情報が処理の対象となって使用された時期についてのデータが記憶され、

前記制御手段は、前記第 1 の情報として、記録媒体に記録されている情報の記録形式の種類を検索し、その種類の中からランダムに記録形式を決定し、該記録形式の情報のうち、最後に使用された情報を読み出すように制御し、前記第 2 以下の情報を読み出す際には、該記録形式で記録されている情報を、新旧の使用順序に従って順次読み出させることを特徴とする請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 1 6】

複数のプログラムが動作可能で、各プログラム毎に動作時に処理の対象とする情報の記録形式がそれぞれ予め定められる情報処理装置であって、

複数の情報を記録可能な記録媒体が着脱可能で、装着時に記録媒体に記録されている情報を読み出すことが可能な媒体装着手段と、

媒体装着手段への記録媒体の装着に応答して、装着された記録媒体に記録されている情報の記録形式の種類を検索し、該複数のプログラムのうち、検索された記録形式の情報を処理の対象とするプログラムを候補として提示する候補提示手段と、

候補提示手段によって提示される候補に対する選択操作を入力する操作入力手段と、

操作入力手段への入力操作に応答して、候補から選択されるプログラムを起動し、該プログラムによる処理の対象となる記録形式の情報から、予め定める順序条件に従って記録媒体に記録されている情報を順次読み出させるように制御する制御手段とを含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 7】

前記記録媒体は、メモリカードであり、

前記記憶手段は、該記録媒体に設けられることを特徴とする請求項 2 ~ 1 5 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 1 8】

前記媒体装着手段は、前記記録媒体を装着する受け口を複数備え、
各受け口毎に情報を処理するプログラムを予め指定可能であることを特徴とする請求項
17記載の情報処理装置。

【請求項19】

コンピュータを、請求項1～18のいずれかに記載の情報処理装置として機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

本発明は、複数のプログラムが動作可能で、各プログラム毎に動作時に処理の対象とする情報の記録形式がそれぞれ予め定められる情報処理装置であって、

複数の情報を記録可能な記録媒体が着脱可能で、装着時に記録媒体に記録されている情報を読出すことが可能な媒体装着手段と、

媒体装着手段への記録媒体の装着に応答して、予め定める順序条件に従って記録媒体に記録されている第1の情報を読出し、該情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを選択的に起動して該情報の処理を行わせ、該記録媒体から第2以下の情報を読出す際には、該プログラムが処理の対象とする記録形式で記録されている情報を、該順序条件に従って順次読出させるように制御する制御手段とを含むことを特徴とする情報処理装置である。

また本発明は、記録媒体から、前記順序条件に従って前記各情報を読出すためのデータが記憶されている記憶手段を含むことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明に従えば、情報処理装置では、媒体装着手段に複数の情報を記録可能な記録媒体が着脱可能であり、装着時には記録媒体に記録されている情報を読出すことが可能である。記録媒体には、複数の記録形式で複数の情報を記録可能である。制御手段は、媒体装着手段への記録媒体の装着に応答して、予め定める順序条件に従って記録媒体に記録されている第1の情報を読出し、情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを選択的に起動して情報の処理を行わせる。記録媒体から第2以下の情報を読出す際には、プログラムが処理の対象とする記録形式で記録されている情報を、順序条件に従って順次読出させるように制御する。第1の情報に従ってその処理を行うプログラムも選択されるので、ユーザは記録媒体を媒体装着手段に装着するだけで、記録されている情報の処理を自動的に行わせることができる。

また本発明に従えば、順序条件に従って記録媒体から情報を読出すためのデータは記憶手段に記憶されているので、記録媒体からの情報の読出しを自動的に行うことができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また本発明で、前記記録媒体には、複数のプログラムが共通に処理の対象とする記録形

式の情報が記録され、

該記録形式の情報を処理の対象とするプログラムについて、各プログラム毎に処理の対象とした回数を記録する記憶手段をさらに含み、

前記制御手段は、前記第1の情報として記録媒体から読出す情報が複数のプログラムによって共通に処理の対象とする記録形式であるとき前記記憶手段に記憶されている回数の最も多いプログラムを起動するように制御することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、ユーザが記録媒体を装着すれば、予め定める順序条件に従って記録媒体に記録されている第1の情報を読み出し、情報の記録形式を処理の対象とするプログラムを選択的に起動して情報の処理を行わせることができる。ユーザは、記録媒体を装着するだけで、情報の読み出しと処理とを自動的に行わせることができる。記録媒体から第2以下の情報を読み出す際には、起動されたプログラムが処理の対象とする記録形式で記録されている情報を、順序条件に従って順次読出させるので、同一のプログラムで情報の処理を続けることができる。

また本発明によれば、記憶媒体から順序条件に従って各情報を読み出すためのデータが記憶手段に記憶されているので、記憶媒体からの情報の読み出しを自動的に行うことができる

。